訪問 機能訓練マッサージ
東京在宅サービス

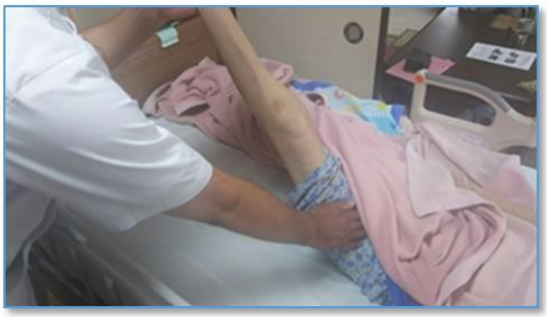
機能訓練マッサージ CASE『寝たきりから脱出 起上りから自力座位へ』

退院直後の機能回復　自力で座位を取りたい

【機能訓練マッサージ】
一人一人の症状や状態を把握・評価し、表出症状の軽減や要望目的への阻害要因を衰退させる事で効果的な身体機能の維持改善とＱＯＬの向上を目指す為の様々な手技・訓練等の組み合わせた手法

K・Y 様　78 才　女性、要介護 3　 2015 年 11 月頃に水頭症、胆のう炎にて一ヶ月程入院。
認知あり。退院後、歩行困難になり全身の力が入らず股関節、膝の拘縮も見られた。自力で座位を取る事を目標で開始。肩関節可動域：屈曲 120 度　膝関節可動域：屈曲 20 度（膝の痛み伴う）股関節可動域：屈曲 30 度（足が上りにく

(1)仰向けで下肢(太もも、ふくらはぎとすね)を軽擦、揉捏、指圧によって血流を促進し、緊張を緩和します。



(2)下肢の血流が改善した後、太ももを支えながらゆっくり股関節の屈曲伸展運動を行い関節可動域(10°→80°)を徐々に広げていきます。

(3)膝裏を支えながらゆっくりと膝の屈伸運動を行い膝の関節可動域(5°→90°)を広げていきます。

(4)両手を支えながらゆっくりと上体を起こし、起き上がり動作を意識して頂きます。

2016 年 2 月末より訪問を開始し、現在週 3 回訪問しています。現在は下肢の固さも取れてきており、股関節、膝の痛みも緩和してきました。ご家族もだんだん症状が改善していく事で喜んで頂ける様になり、ご本人様も座位の態勢まで早く動かす事が出来る様になりました。